



見学会 レポート

東西線飯田橋・九段下間折返し設備設置 九段下工区改良土木工事 現場見学会を行いました

■ 日時：2024年5月16日(木) ■ 見学時間：14:00～16:00
 ■ 参加者：24名 ■ 協力会社：五洋建設株式会社



都道8号(目白通り)の直下では、都市の大改造が行われている

去る5月16日、Frontline(P12～16)でも取り上げた「東西線飯田橋・九段下間折返し設備設置九段下工区改良土木工事」の現場にて見学会が開催された。

冒頭、孫谷所長より本事業の概要と進捗状況、プロジェクトの目的などをご説明いただき、その後4つの班に分かれて都道8号(目白通り)・飯田橋一丁目交差点の直下にある現場に入場。土被りが小さく、下水・電話線といったライフラインの配管が所狭しと張り巡らされる中、

時折腰をかがめながら、狭い現場を案内していただいた。壁一枚隔てた向こうを今まさに東京メトロ東西線が走行している。そのこちら側で新たなコンクリート函体を構築する作業は、様々な地中埋設物をケアしながらの難工事。見学会後の質疑応答では吊り防護の方法や既存躯体の下に底盤コンクリートを打設する手順などについての質問が相次ぎ、孫谷所長の解説にうなずく姿も見られた。



土留め壁の内側で、既存の地下鉄躯体を取り囲む大きな函体の鉄筋が組まれている



土被りが小さく、様々なライフラインをケアしながらの作業となる



見学者に現場の事業内容を説明する、五洋建設(株)・孫谷弘一 所長